

JOYO BANK NEWS LETTER

平成 30 年 3 月 29 日

セコム 株式会社
株式会社 常陽銀行
沼尻産業 株式会社

セコムと常陽銀行による事業協創プロジェクト「アクションS」 世界初、沼尻産業の物流施設で「SGS施設セキュリティ評価登録証」を取得

セコム株式会社(代表取締役社長 中山 泰男)、株式会社常陽銀行(頭取 寺門 一義)および沼尻産業株式会社(代表取締役社長 沼尻 年正)は、このたび、事業協創プロジェクト「アクションS」(以下、「本プロジェクト」)の最初の成果として、沼尻産業株式会社の物流施設において世界初となる「SGS施設セキュリティ評価登録証」を取得いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

近年、国内外問わず物流施設は犯罪の標的となりやすい傾向にあり、安全なサプライチェーンを構築することはビジネス拡大の前提条件として、極めて重要なテーマとなっています。

セコム株式会社と沼尻産業株式会社は、本プロジェクトにおいて、“地域内物流におけるセキュリティ・ロジスティクス・サービスの開発”をテーマに事業協創に取り組んでいます。今回、その第一弾として、出入管理システムや機械警備システム等の強化に取り組んでいる沼尻産業株式会社の「つくばアーカイブセンター」において、「SGS施設セキュリティ評価登録証」の取得に至りました。「SGS施設セキュリティ評価基準」は、SGSジャパン株式会社がセコム株式会社との共同研究の成果に基づき策定した、海外での使用も想定した汎用的な評価基準であり、沼尻産業株式会社では、本登録証取得により、機密性の高い物流についてこれまで以上に安全に取り扱うことが可能になります。

今後、セキュリティ・ロジスティクス・サービスの創出に向け、さまざまな取り組みを展開してまいります。



「SGS施設セキュリティ評価登録証」授与式
(平成 30 年 3 月 28 日)



「SGS施設セキュリティ評価登録章(左側)」



常陽銀行

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

常陽銀行

〒310-0021 茨城県水戸市南町2-5-5
Tel. 029-231-2151(代表) www.joyobank.co.jp

(別紙)

<事業協創プロジェクト「アクションS」について>

セコムと常陽銀行が主催し、地元企業が有するビジネスアイデアや技術とセコムのサービスや技術とを組み合わせることにより、新しいサービスや商品の創出や、新市場、新事業創出を目指すオープンイノベーションのプロジェクトです。平成28年9月に、セコムが社会の課題として設定している「セキュリティ」「超高齢社会」「災害・BCP・環境」の3つの分野に関して事業アイデアを持つ企業を、常陽銀行を通じて募集しました。

セコムと沼尻産業は、これをきっかけとして“地域内物流におけるセキュリティ・ロジスティクス・サービスの開発”をテーマに事業協創に取り組むこととなったものです。

<「SGS施設セキュリティ評価基準」について>

世界最大級の検査、検証、試験、および認証機関であるSGSグループの日本法人、SGSジャパン株式会社が、セコムとの共同研究の成果に基づき、サプライチェーンに関わる新しいセキュリティ基準として平成30年2月に策定しました。外的なリスクだけでなく、コンプライアンス違反などの内部リスクも考慮した設計となっており、国内のみならず海外での使用も想定した汎用的な評価基準です。セキュリティ評価基準に適合した企業は、評価登録証を取得することで、取引先だけでなく、テナント企業や投資家、周辺地域・住民などさまざまな関係者へ施設の安全性をアピールできます。